

現地説明会・発掘体験を行いました。

地域の方々に発掘調査や地域の歴史を知っていただく機会として、調査担当者が、発掘調査の結果から考えられる当時の生活について現地で説明したり、発掘体験を行ったりしました。

松下遺跡現地説明会

(都城市) 参加者数101名 平成29年9月30日(土)



調査担当者が、竪穴住居跡や周溝状遺構、出土遺物について説明しました。地元住民の皆様が多数参加されました。

百塚原古墳群調査成果報告会・発掘体験

(西都市) 参加者数33名 平成29年12月16日(土)



地元の方を対象に報告会と発掘調査体験を実施しました。調査体験には小中学生が参加し、古墳の周溝跡の掘削や地形測量等を行いました。

出前講座・出前展示に申し込みませんか？

宮崎県埋蔵文化財センターでは、職員が土器や石器などの遺物を持参し、学校や団体の皆様に、地域・周辺の歴史についてお話しする「出前講座」を行っています。また、本物の土器や石器、解説・写真パネルなどの「出前展示」のご希望にもお応えします。いずれも費用はかかりません。日程調整や準備に時間が必要なため、事前に普及資料課までご相談ください。本物の土器や石器を学校向けに貸し出す「学習キット」もご利用ください。

連絡先：宮崎県埋蔵文化財センター分館 普及資料課 Tel. 0985-21-1600



通山小学校での出前講座



KIRISHIMAツバキ武道館での出前展示

平成30年度普及事業のお知らせ

※事業の日程、内容についてはやむを得ず変更することがあります。ホームページ等で事前にご確認ください。

埋蔵文化財講座 第3日曜日13:30より 参加無料・申込不要
「ここまでわかったひむかの歴史」

近年報告書が刊行された遺跡や本県の重要な遺跡について担当者が講演します。

場所：分館(宮崎市神宮)

- 5月20日(日) 荒迫遺跡が語るもの～古代の畠と高原スコリア～
荒迫遺跡(高原町)
- 6月17日(日) 県庁敷地下に残る水田の始まり 橘通東1丁目遺跡(宮崎市)
- 7月15日(日) 武士の手帖～城下町「飢肥」の事情～
飢肥城下町遺跡(日南市)
- 12月16日(日) シラス台地にねむる集落跡 高橋遺跡(都城市)
- 1月20日(日) 日向の戦国時代と山城の興亡 塩見城跡(日向市)
- 2月17日(日) 古代西都のものづくり遺跡 潮・山之後遺跡(西都市)

遺跡発掘成果展2018 観覧無料

赤木遺跡・黒仁田遺跡・神殿遺跡など、県北の延岡市及び西臼杵郡で調査を行った遺跡の資料を中心に展示します。

場所：県立図書館特別展示室

期間：9月1日(土)～9月30日(日)

遺跡発掘速報会 参加無料・申込不要

前年度までに発掘調査を実施した遺跡の速報講演会です。

場所：県立図書館視聴覚室

日時：9月2日(日) 13:30～16:30

報告遺跡：青木遺跡、小松尾遺跡、松下遺跡(予定) 保木島遺跡、嫁坂遺跡、上高遺跡など

施設公開「埋文センターで考古学体験」 参加無料
埋文センターを知っていただくイベントです。申込不要
さまざまな体験やプレゼントを準備しています。
場所：分館(宮崎市神宮) 日時：11月4日(日) 10:00～16:00

移動展示会「土器と石器がやってきた!埋文セレクション」
埋文センター所蔵の遺物から逸品を選んで各地で公開する企画です。講座や解説もあわせて実施します。

美郷会場 場所：美郷町・西の正倉院附属棟
観覧無料 期間：5月3日(木・祝)・4日(金・祝)

宮崎会場 場所：宮崎大学附属図書館
観覧無料 期間：6月5日(火)～7月1日(日)

串間会場 場所：串間市中央公民館
観覧無料 期間：7月23日(月)～8月24日(金)
関連講座：8月4日(土)

小林会場 場所：小林市役所
観覧無料 期間：11月18日(日)～12月1日(土)
関連講座：11月18日(日)・23日(金)～25日(日)・12月1日(土)

分館テーマ展示

神宮の分館では常設展示の一部を季節ごとに入れ替え、平成30年度は3回テーマ展示をおこないます。

- 春の展示「埋文講座関連展示①」
- 秋の展示「埋文講座関連展示②」
- 冬の展示「県北の遺跡」



宮崎県埋蔵文化財センターは、宮崎県教育委員会に所属し、県内各地における発掘調査や文化財の保護、教育普及活動に取り組む機関です。1982年の設立以来、約35年間にわたって県内各地で発掘調査を行い、出土した膨大な考古資料の収蔵管理を行っています。

今回の移動展示会は、埋蔵文化財センター所蔵資料の中から選りすぐりの逸品や、地域に関連する資料で構成し、広く県民の皆様へ郷土の歴史に触れていただくことを目的に県内2か所で開催しました。今後も県内各地での移動展示会を企画してまいります。ご期待ください。

宮崎県埋蔵文化財センター通信

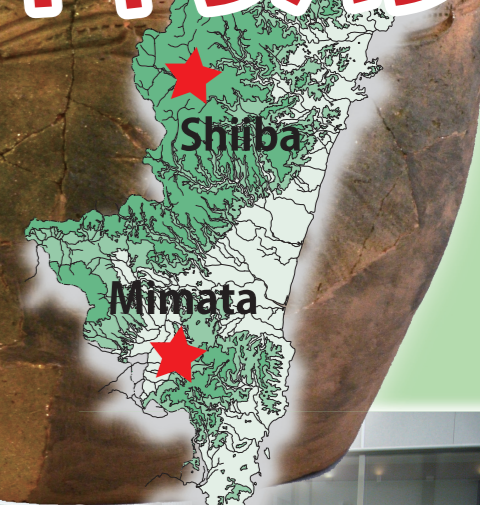
20号



移動展示会
ふるさと発掘!
埋文キャラバン

県内2会場で開催しました。

- ① 三股会場 三股町立文化会館
平成29年9月30日(土)～10月29日(日)
キャラバン講座 10月21・24・28日
- ② 椎葉会場 椎葉村役場
平成29年11月6日(月)～11月24日(金)
キャラバン講座 11月19日



三股会場

キャラバン講座のようす

- 右：三股会場・展示解説
- 右中：三股会場・体験講座
- 下中・右下：椎葉会場・体験講座

椎葉会場

おつるちゃんも見学!



平成29年度の発掘調査

① 青木遺跡

あおき

児湯郡高鍋町大字上江

調査期間：2017年6月14日～2017年9月29日

青木遺跡は、小丸川の右岸、標高30m弱の段丘上に立地します。遺跡の周辺は、野首第1・第2遺跡、山王古墳群など各時代の遺跡が密集する地域です。青木遺跡の調査では、主に縄文時代の土坑、古墳時代の竪穴住居跡、古代の掘立柱建物跡などが確認されました。特に竪穴住居跡と掘立柱建物跡は方位に強く規制されており、規模も比較的大型であることから公的性格の強い建物と予想されます。古墳時代から古代にかけての社会状況を描き出す貴重な成果であるといえるでしょう。



6号竪穴住居跡

② 塚原遺跡

つかばる

東諸県郡国富町大字塚原

調査期間：2017年4月12日～2017年6月30日

塚原遺跡(J地区)は、国富町東部、東九州自動車道と県道26号線が交差する付近の丘陵東端部に位置します。調査の結果、旧石器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代の遺物や遺構が確認されました。特に、旧石器時代の礫群や縄文時代早期の集石遺構、炉穴といった当時の調理の場と考えられる遺構や弥生時代の集落を囲むように深く掘られた環濠の一部がみついています。



弥生時代の環濠

③ 小松尾遺跡

こまつお

都城市乙房町

調査期間：2017年11月13日～2018年1月25日

小松尾遺跡は、都城市街地北部の月野原台地東端に立地します。調査の結果、古墳時代前期の竪穴住居跡1軒、中世以降の溝状遺構1条、近世の土坑1基がみつかりました。竪穴住居跡からは小型丸底壺がほぼ完全な形で出土しました。溝状遺構は、詳細な時期は不明ながら、床はほぼ平坦で、所々に硬化した箇所があり、道路の機能を有していた時期もあると考えられます。当時の人々の生活の様子を考える上で、貴重な資料となりました。



中世以降の溝状遺構

④ 松下遺跡

まつした

都城市志比田町

調査期間：2017年6月5日～2017年10月27日

松下遺跡は、月野原台地と横市川流域に広がる低地の間に形成された河岸段丘面の端に立地しています。調査の結果、弥生時代後期後半の竪穴住居跡3軒、周溝状遺構1基、土坑1基、掘立柱建物跡1棟がみつかりました。3軒の竪穴住居跡からは、多数の炭化物や周堤と考えられる高まりや人工的につくられた棚状の施設がみつかりました。また、甕・壺・高坏などの弥生土器や石器が出土しました。



焼失住居と考えられる竪穴住居跡

⑤ 保木島遺跡 (第2次調査)

ほきしま

都城市梅北町

調査期間：2017年5月8日～2018年3月16日

保木島遺跡は、都城市南西部の金御岳を中心とした鰐塚山系から派生する丘陵の尾根筋から谷に向かう傾斜地に位置しています。

本年度の調査は、昨年度の1次調査に続いて行いました。調査の結果、古代～中世の溝状遺構や道路状遺構、縄文時代早期の集石遺構などが確認されました。また、縄文時代早期の妙見式土器、後～晩期の三万田式土器・黒川式土器や石器(石匙・打製石鏃・剥片)などが多数出土しています。



溝状遺構

⑥ 嫁坂遺跡 (第2次調査)

よめさか

都城市梅北町

調査期間：2017年12月6日～2018年3月5日

嫁坂遺跡は、都城市の南西部に位置し、鰐塚山系から派生する丘陵上に立地した遺跡で、昨年度行われた1次調査の隣接地にあたります。保木島遺跡の南部に位置する遺跡です。主に縄文時代後期から晩期にかけての遺跡で、柱穴などの遺構がみつっています。また、縄文時代晩期の黒川式土器や磨製石斧、ホルンフェルス製の石匙、チャート製の石鏃などが出土しています。



黒川式土器

⑦ 上高遺跡

かみたか

都城市梅北町

調査期間：2017年5月8日～2018年2月28日

上高遺跡は、保木島遺跡や嫁坂遺跡の南部に位置する遺跡です。今回の調査で確認された遺構は古代から中世の道路状遺構、縄文時代後期から晩期にかけての竪穴住居跡や土坑、縄文時代早期の集石遺構や陥し穴状遺構があります。

縄文時代早期の集石遺構は23基以上みつかり、大きいものでは直径が2m程あります。また、縄文時代早期から晩期にかけて多数の土器片や石器が出土しています。



縄文時代早期の集石遺構

⑧ 百塚原古墳群

ひやくつかばる

西都市大字三納

調査期間：2017年10月23日～2017年12月22日

百塚原古墳群は、西都原古墳群の西側に位置する、西原(永野原)地区の丘陵上にあります。今回の調査では、過去に実施した地中レーダー探査の結果をもとに、9号墳と墳丘を失った古墳3基の周溝(古墳の周囲を巡る溝)、周溝の中に竪坑(玄室に降りるために地下方向に垂直に掘られた坑)を持つ地下式横穴墓(古墳時代の南九州特有の墓)1基を確認しました。竪坑をみつめるには、地下から掘り上げられた土の塊の堆積が重要な手掛かりとなります。



周溝の中に掘られた地下式横穴墓の竪坑(半截状況)